



いつでもどこでも  
どこへでも  
議会の中でも外でも、  
市民の皆さんとともに

寄せられたご要望・ご相談事の解決・改善をめざし、市民の皆さんと一緒に取り組んでいます。最初のページにその一端をご紹介します。その次のページ以下では、それらのご要望の実現をめざし、議会で取り上げている様子などを紹介しています。

南区 京都市会議員

# 井上けんじ



## 井上けんじ

略歴 市議4期。南大内学区八条内田町出身。京都府立大学文学部社会福祉学科卒業。市社会福祉協議会職員、福祉保育労働組合専従役員、市会公営企業等予算委員長・厚生委員長など歴任。九条健康友の会・南民主商工会顧問。2014年3月まで経済総務委員長。京都府後期高齢者医療広域連合議会議員、党南地区委員。

●ご意見・ご要望は下記までご連絡ください。

日本共産党京都市会議員団

2014年3月  
京都市中京区河原町御池 京都市役所内  
TEL. 222-3728 FAX. 211-2130

E-mail. info@cpgkyoto.jp  
京都市会議員団



議会の外でも 市民の皆さんとともに

# 皆さんから寄せられた 相談事例より

## ■国保料の減額と 保険証交付を実現

国保料が払えなくて差押えを予告されていた方からのご相談。収入をお聞きし減額できるはずと試算。一緒に区役所へ。減額と分割納付が実現し、差押えを回避。保険証は期限が切れて無保険でしたが、今回、新しい保険証の交付も実現。  
借店舗で食料品店を経営、商店街全体も寂しくなり、売上げも減少。「差押え予告でビックリしたが、これをきっかけに商売も頑張る」。

## ■悲しみをのりこえて

夜9時頃電話を頂く。「入院中の夫が亡くなり、病院から今日中に遺体を引き上げるよう言われている」。直ちに知り合いの葬儀屋に連絡、病院へ迎えに行ってもらい、お葬式の手配。お骨は市の深草墓地へ。  
区役所に葬祭費を請求。年金事務所への死亡届けと遺族年金の請求。借金が残ったので家庭裁判所へ相続放棄の手続きに。戸籍謄本を請求。大家さんに借家人名義の変更

更。今後の生活について福祉事務所と相談等々、激励しながらご一緒に動きました。

## ■生活福祉資金の返済猶予が実現

一人親家庭のAさん。子どもさんの養育費や国民健康保険料、別居のご両親の医療費・介護費用などの負担が大変。変則勤務にもかかわらず、仕事も子育ても頑張っておられます。

相談の上、返済中の生活福祉資金の返済猶予が実現。また、両親の医療費も、地域のケアマネさんと連携し、減額が実現しました。

## ■やっと落ち着きました

Aさん「市営住宅の弟Bが病死。事実婚の妻Yさんが、市から退去を迫られている」。Yさん「20年前に青森から上京。Bさんと知り合い、同居。転居届も出さないまま。仕事をしながら病気のBさんを看病。同居届けのことは知らなかった」。この場合、名義人の死亡により無届け同居人は退去となります。

## ■その他

- 水道管の水漏れ
- 遺産分割
- 身体障害者手帳の申請に同行
- 融資の相談
- 年金の相談
- マンション建設に伴う近隣住民の皆さんからの相談
- サラ金
- 不法駐車対策
- 医療費や保険料の支払い・減免
- 市営住宅応募申し込み
- 高齢者の入院・施設入所
- 鳥や鳥のフンなどの対処
- 就職相談
- ペット愛護
- 生活保護等々、様々なご相談やご意見をお聞きしています。

## コラム 災害

地震・津波・原発の三重の被災・被害の東北地方へも支援に。京都でも台風18号で南区内の河川の水位が、堤防ギリギリまで迫り、桂川や西高瀬川の堤防の一部から漏水。早朝から桂川・鴨川・西高瀬川周辺など区内を巡回、避難された方や消防団の皆さん、地域の役員さんなどを激励、また、関係官庁を訪問。現地・現場を回りながら、同時に市の体制確立、予算確保などを議会でも市長に迫る。



## コラム 文化

折々、南区文化芸能フェスティバルが開かれています。庶民の文化を鑑賞・勉強・激励。歌ありピアノあり、大正琴、フラダンス、日本舞踊等々、多彩な企画。市はもっと応援をと、求めています。南大内チームの一員として南区壮年ソフトボール大会にも出場させていただきました(殿田公園にて)。稲荷祭りや六孫王神社の祭りで御輿を担いでいます(ほとんど横を歩いていた?)。





委員会にて

# 相談内容を、すぐに議会で 取り上げ、実現・改善をめざす

## ■国保会計は5年連続で黒字 保険料の引き下げを

(井上) 国保は黒字が続いている。国保料を値下げすべき。  
(答弁) 過去の赤字が残っている。  
(井上) 赤字は市民の責任ではない。社会保険としての保険、市民の命と健康を守る事が先決だ。国保への財政的責任を果たすよう国に求めよ。

## ■くらしと経済の底上げを

市長の「成長戦略・都市間競争に打ち勝つ」等の政策を批判。中小企業振興条例の制定や正規雇用の拡大など、京都経済と市民生活の底上げが必要と、政策の根本的転換を迫っています。

(井上) 中小企業振興条例の制定を。  
(答弁) 制定しなくても応援している。  
(井上) 条例上の根拠をもった体系化が必要。経済の主役との位置付けを打ち出すことが必要。市の方針はベンチャー偏重、既存中小企業の支援を。  
(答弁) 確かに底上げや下支えは必要。  
(井上) 業界や関係者と相談して制定を。  
(答弁) 都市間競争に勝つ。  
(井上) 誰と誰が何の競争をするのか。  
(答弁) 企業の競争力を応援する。

(井上) その方針は、結局強い者応援だ。  
(答弁) 大手が栄えれば中小企業も栄える。  
(井上) 中小企業を直接、応援すべき。

## ■建設業や再生可能エネルギー分野など、産業政策として位置付け、育成・支援を

(井上) 建設業や再生可能エネルギー分野等の応援策が必要。  
(答弁) 独自の対応策は必要。  
(井上) 下請け単価、代金遅延・未払い、納期、部品の調達や販路拡大等々を支援しつつ、中小企業が経済の主役との位置付けを明確に。

## ■ゴミ袋代の値下げを

(井上) ゴミ袋代を100円とすると製造原価は30円。70円分は市の一般行政に充てられている。これは本来、市の一般会計で賄うべきもの。7割は値下げできる勘定だ。

## ■保育の公的責任を守れ

保育への公的責任を後退させようとする動きが進められています。一方、国民の世論と運動で、公的な責任も守られています。園と保護者の直接契約でなく、公

的責任を守れと追及。「市町村の保育実施義務は変わらない」との答弁を引き出しています。

## ■飛び出すな 子どもは急に止まらない

通学路の安全対策のいっそうの促進、交差点の改良・改善を要求。「飛び出すな子ども」は急に止まらない。安全対策の根本は、クルマ優先から人間優先の社会への転換だと訴えています。

## ■「この子を世の光に すべての子どもにゆき届いた教育を

特別支援学校での雨漏り改善を要求。生徒数が増えている学校もあり、新設校増設を求める。どんな重度の障害児も発達し成長する。この考えは、どの子も伸びる等、教育全般にも影響を与えてきたと、障害児教育の一層の充実を要求。

## ■洛陽工高と伏見工高は統合するな

「洛陽・伏見両工業高校の統廃合」との教

育委員会の方針。

「どちらか一校にまとめるのか。他校は廃校か、それとも併用か。名前はどうするのか。統廃合すべきでない」等と追及。



## ■体罰は絶対ダメ

「『体罰は法律で禁止されている』と、教育長から通達。当たり前だが、法律云々より、生徒の人權と尊厳を蹂躪するからこそダメなのではないか」と追及。「ダメという結論は同じ」とあまり教育的でない答弁。

## ■「公的庶民金融」の実現、 夏季歳末生活資金貸付の改善を

夏季歳末生活資金貸付について、貸付申込み期間の延長、上限額の柔軟な対応等々、改善を求めました。貧困化が進んでおり、失業や不安定雇用、営業不振、廃業・倒産等々、生活の困難が日常化と指摘。公的な小口庶民金融の実現を求めています。

## 京都府後期高齢者医療広域連合 議会でも、皆さんの声を取り上げ

- ・社会保障改悪、消費税増税、TPP参加など安倍内閣の国民いじめに反対の声をあげよ。
- ・医療費の窓口一部負担金の軽減、減免制度の拡充を。保険料は値上げするな。



広域連合議会にて

## 近畿財務局や政府にも 市民の要求実現を迫る

融資の申し込みや返済など、市民の立場で金融機関を指導せよと、大阪の近畿財務局にも申し入れ。

政府とも交渉。社会保障を改悪するな、保険料を値下げせよ、消費税増税は中止を、原発は稼働するな、等々と要求。



倉林参院議員らと対政府交渉



本会議にて

# 2013年9月市会で 代表質問に立ちました



## 大型店出店の規制を 大店立地法の改正を

南区の大型店出店にかかわって、周辺

その出発点として、職員による全事業所  
実態調査などを求めました。  
理事者は、「中小企業は京都経済活性  
化の核心」との認識を示す一方、すでに  
景況調査や経済団体との情報交換などを  
行っているとし、全事業所調査について  
は実施の意向を示しませんでした。

## 所得を増やし、 購買力を高める真の景気対策を

市民生活や中小企業について、所得の  
落ち込み、倒産や廃業、京都市の非正規  
率が44%にもなっていることなど、一層  
深刻となっている実態を指摘。大企業の  
内部留保の一部を活用すれば、労働者の  
正規雇用の拡大や賃上げは可能、それこ  
そ景気回復の道だと迫りました。  
理事者は、「成長分野の企業育成ととも  
に、府や経済界と連携し、中小企業の下  
支え、雇用の創出に努めていく」と答弁  
しました。

## くらし破壊、財政危機まねく 消費税増税は、中止を要求すべき

政府が今年4月からの消費税増税を表  
明したことに対して、消費税増税はくら  
しと営業を直撃し、一層の景気悪化を招  
き、財政危機をかえって深刻にする指  
摘。今回の増税分も大企業減税の穴埋め  
に回されることを厳しく批判し、政府に  
増税中止の声をあげるよう迫りました。

## 企業立地助成制度補助金の 見直しを

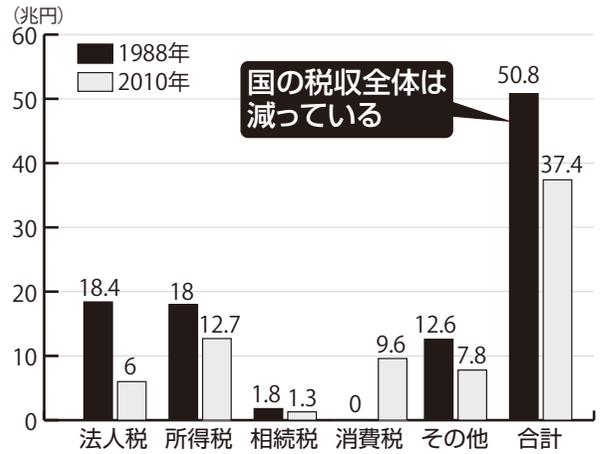
京都市の企業立地促進助成制度による補  
助金を受けてきたいくつかの企業が、政党  
の支部や資金管理団体に寄付をしており、  
市民が納めた税金が直接間接に政党の活動  
資金となっている状況を指摘しました。  
理事者は「補助金を受けた企業において  
判断されるもの。政治資金規正法をふまえ  
適正に処理されている」と強弁しました。

理事者は、「消費税はあらゆる世代が  
広く公平に負担を分かち合う税」などと、  
市民のくらしや中小企業への影響につい  
てはほとんど眼中にないかのような答弁  
でした。

## 不況に苦しむ中小企業を支える 振興策を

不況に苦しむ中小企業を支えるために、  
他都市の実例も紹介しながら、京都市の  
中小企業振興策にも活かすべきと主張。

▶消費税導入以降の税収構成の変化



## 住民無視、地方自治破壊の 道州制に反対

関西経済界が要求している道州制につ  
いても質問。「道州に移行しない」との前  
提で発足した関西広域連合が京都府知事  
や京都市長も含めた参加自治体の首長の  
連名で「道州制に向けて憲法改正を」と  
政府に要望を提出したのは約束違反、且  
つ憲法改正にも踏み込んだ二重の大問題  
と迫りました。

市長は、「地方分権改革のために、特別  
自治市制度と道州制が必要。道州制の検  
討にあたって、憲法改正の議論を行うこ  
と自体を排除すべきではない」と答弁。  
これに対し、さらに第二質問で「一般  
的な憲法改正議論ではない。市長名で『改  
正を』と言っているから問題にしているの  
だ」と反論。大企業奉仕か、住民のくら  
しを守る砦とするのか、自治体のあり方  
が根本的に問われていると指摘しました。

# 住みよい南区のまちづくりへ 東奔西走



**10 御前通りの東海道線ガード**  
ガードを拡幅し、車イスや自転車が安全に通行できるように改善すべきです。



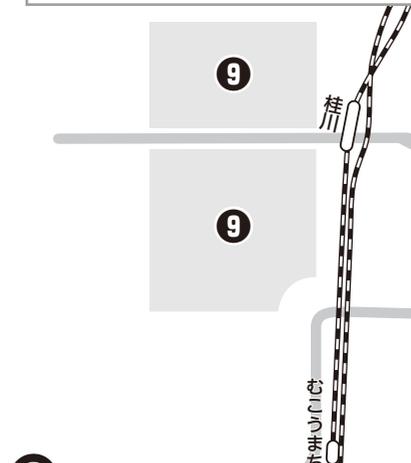
**11 九条大宮バス停にベンチ**  
バス停にベンチの設置が実現。住民の皆さんの運動が実ったものです。他にも、何カ所かベンチが実現。



**12 街路灯の設置実現**



**9 キリンビール工場跡地**  
イオンの大型商業施設・マンション建設は、住民合意ですめるべきです。



**8 第二久世橋(祥久橋)**  
第二久世橋が国道171号線に直結。長年にわたる要望・運動が実を結びました。



**7 八条団地**  
市はようやく耐震改修とエレベーター設置を方針化。しかし、戸数が減るのは問題です。



**6 市立洛陽工業高校**  
「洛陽・伏見両工業高校の統合」の移転先は伏見に？ 跡地はどうなる？ 両校とも存続が必要です。



**5 UR住宅・市立保育所**  
耐震化が実現。再三議会で取り上げ、UR本部にも申し入れました。



**4 近鉄十条駅前**  
信号・横断歩道の設置が実現しました。



**3 高速道路未着工3路線**  
市長は久世橋線などの「廃止」を明言しました。約束を守れと追及しています。



**2 JR西大路駅**  
バリアフリー化が決定し、請願も採択されました。早期実現めざしてがんばります。



**1 京都駅八条口駅前広場整備**  
「近隣住民・事業関係者の合意と納得を前提にすべき」と求めています。



# 市民とともに 市政を動かす

## 14人の日本共産党京都市会議員団

14人の日本共産党京都市会議員団は、市民のみなさんと力をあわせ、市民いじめの悪い政治とキッパリ対決して、市議会でもねばり強い論戦をおこなうとともに、つねに建設的な対案を示し、みなさんの切実な要求や願いを次々に実現させてきました。



### 安倍内閣の暴走にストップを

国民の「知る権利」を奪う秘密保護法の強行成立、消費税増税、社会保障解体、TPP強行、原発推進など、安倍自公政権は、あらゆる分野で暴走を続けています。共産党議員団は、安倍政権の暴走にストップをかける国民的運動の先頭に立つとともに、門川市長に対し「市民のくらしを守る立場から国に対し物を言うべき」と迫ってきました。しかし、市長は国いなりで、消費税増税や社会保障解体も推進の立場です。市長与党も昨年11月市会に56団体から出された「増税中止」の請願を不採択にしました。

秘密保護法は廃止すべき



4月からの消費税増税中止を



### ムダな大型公共事業をストップさせる

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

### 高速道路未着工3路線

共産党議員団は、ムダと環境破壊の市内高速道路建設に当初から反対してきました。残る未着工3路線（堀川線・西大路線・久世橋線）の総事業費は2900億円。計画の中で、「計画の中止を繰り返す求めてきましたが、2012年3月の市議会でも、市長は事実上、「廃止」を表明しました。



未着工3路線

### 市民サービス切り捨て、職員削減の「京プラン」は撤回を

4年間で250億円の福祉・教育予算を含む経常経費を削る「京（みやこ）プラン」実施計画は、国の構造改革路線をそのまま京都に持ち込むもので、くらしを守るためには、「京（みやこ）プラン」の撤回が必要です。

### 市バス・地下鉄運賃、水道料金の値上げ中止を

消費税増税にあわせた市バス・地下鉄運賃の値上げ、上下水道料金の値上げが提案されましたが、これに反対して議会で論戦をおこなったのは日本共産党だけでした。他党派・無所属の議員は、昨年10月からの水道料金値上げも含め、すべての値上げ提案に賛成しました。



### 「市民の宝物」

### 敬老乗車証を守れ

敬老乗車証について、京都市は、乗るた

### 台風18号被害への緊急対策と復旧支援に全力

市内にも大きな被害をもたらした昨年9月の台風18号。共産党議員団として、200カ所をこす被害現場を調査し、緊急の対策と復旧支援などについて、京都市に3次の申し入れを行いました。



台風18号の被害対策について京都市に申し入れ



びに一定のお金を払う「応益負担」の制度に変えようとしており、「敬老乗車証を守れ」の市民のたたかいは大きく広がっています。

昨年9月に開催された「敬老乗車証を守るう！市民集会」には170人が参加。今年2月までに、市長に対して8388筆の要望署名が提出されました。

### みなさんと力をあわせ、切実な要求を次々に実現

も早い補償の実現、台風18号被害の教訓を生かした抜本的な浸水被害対策など、安全なまちづくりをすすめるよう求めています。

### 市営住宅の風呂がまは 京都市の責任で取り替えに

請願の紹介議員になったのは共産党だけ。毎年、市に要望してきました。

### 市バス均一運賃区間が 嵯峨・嵐山地域に拡大

10年来の地域住民のねばり強い運動と市議会での論戦が実ったものです。

### 西賀茂北部の柵野に 市バス路線が走ることに

西賀茂車庫までの市バス路線延長を求めてきた住民の悲願が実現したものです。

### JR太秦駅、阪急西院駅等で バリアフリー化が前進

2014年度はJR桃山駅、阪急嵐山・松尾大社・上桂駅で基本構想が策定されます。